

一般質問通告書

受領日時 令和6年 8 月 26日 (午前)・午後 11時40分 5番 氏名 佐沢 由佳子

質問項目	質問の要旨
1 町のホームページ SNS について	<p>(1) ホームページや SNS は、町民が町の情報を得る場であるのはもちろん、対外的に町を PR する場であり町を知る入り口であり重要だと考える。 五城目町のホームページの閲覧数、Instagram、Facebook、X のフォロワー数は。 近年は、パソコンよりもスマホやタブレット等で情報を得る人が多いと感じるが、パソコン版とスマホ版のそれぞれの閲覧数は。</p> <p>(2) 町ホームページのスマホ版のトップ画面には、緊急情報が大きく掲載されており、画面一面を占領する形になっている。 大雨被害から1年経ったが、トップ画面にいつまで固定している予定でいるのか。大雨被害に関しての情報は検索して見ることができるよう防災安全情報のリンクに移動してもいいのではないか。</p> <p>(3) ホームページの仕様について、現在のデザインになったのは何年前か。</p> <p>(4) パソコン版もそうだが、スマホ版においては特にスマホやタブレットを開いた時の画面の印象が大切と考える。画面の印象がそのまま町の印象であり、スクロールして読み進めたいか、ほしい情報にすぐにたどり着けるかが重要。デザインが洗練され良いイメージを与えられるか、町民が知りたい情報や町外の方向けの情報が目に入るか。検索しやすくなっているかを今一度見直し検討してみてはどうか。</p> <p>(5) SNS の活用も重要と考える。最近は町民向けサービスとして、公式 LINE を整備する自治体も増えてきているように思う。町民にアプリをダウンロードしてもらう必要があるが、必要な情報が受け取れたり、災害による緊急発信や、チャットボットの活用により今までの窓口や電話で対応していた問い合わせなど 24 時間 365 日気軽に問い合わせが可能、住民のニーズの把握にも役立つと考える。 導入については、様々な媒体や用途の選定、料金設定などがあるため慎重に検討が必要だと思うが業務の効率化や町民の利便性の向上のために検討してはどうか。</p>

	<p>※チャットボットとは「チャット（おしゃべり）」「ロボット」を組み合わせた造語で、業務を効率化可能にするAIによる自動会話プログラム。</p> <p>(6) ホームページや SNS の運用を含む職員の業務の効率化や AI の活用導入については、やはりデジタルの専門知識のある方に全体像を見てもらいつつ最適化して行くことが必要と感じる。</p> <p>DX 推進について五城目町は遅れをとっているように見えるが、様々な業務にデジタル技術を生かし職員の業務の効率化や町民の利便性を高めるには、全国の様々な事例が揃い始めており、良い事例を選択し、民間では五城目町にはハイラボやババメベース入居企業など先進的な施設や企業もあることから民間と協働しながら進めることも視野に入れることが出来る良いタイミングだと考える。今後の DX 推進について町の考えは。</p>
<p>2 空き家バンクについて</p>	<p>(1) 五城目町では空き家の問題は深刻であり、町内の空き家を売りたい貸したい人と町内外からの空き家のマッチングを望む声も少なくない。これまでも一般質問でも声が上がってきていたが、町からは空き家は WEB ページ五城目移住宣言に掲載しているとの回答だった。</p> <p>先日、県庁の地域づくり推進課の方と雑談をする機会があり、その中で他の自治体では空き家バンクなどどのように運営しているのか。独自のシステムを使っているのかいくつか質問したところ</p> <p>県としては全国版の空き家バンクを勧めているとのことだった。</p> <p>全国版の空き家バンクでは掲載物件総数 9277 件、参画自治体 817 件</p> <p>秋田県では 14 の自治体が参画し 215 件の物件が掲載されている。</p> <p>内容的にも、テーマから空き家を探すことができ 例えば、古民家 100 万円以下、農地付きなどの分類から探すことができたり</p> <p>お役立ち情報として地域の写真やプロモーション動画やイベント情報などの紹介があったりと</p> <p>町を PR するメディアの一つとしてもよいものであると感じた。町のホームページとリンクしたり</p> <p>他の自治体の空き家を参考に情報の整理も出来ることから、五城目町でも導入、参画の検討をしてみてはどうか。</p>

<p>3 防災無線聞き直しダイヤルについて</p>	<p>(1) 防災無線が聞き取りにくい時に活用される聞き直しダイヤルにはどのぐらい活用されているか。</p> <p>(2) 登録制メールへの登録者数は。</p> <p>(3) 聞き取れないたびに毎回電話する方がおり、料金が毎回かかるが自分に関係ない内容だったりがつかりするとのこと。やはり防災無線なので町民に情報が確実に届くことが大切と思う。 他自治体ではフリーダイヤルを採用しているところも多い。五城目町でも通話無料のフリーダイヤルを検討してはどうか。</p>
<p>4 公共交通について</p>	<p>(1) 五城目地区内での移動について。 ホームページにある乗り合いタクシーの説明文には『あくまでも廃止バス路線の代替え交通として運行しているものでありますので、五城目地区内での移動には利用できません。五城目地区内での移動には、民間のタクシーや路線バスなどをご利用ください』と書かれている。 しかし、免許返納した方や自転車移動が困難な冬の移動など不安を抱えている人が多い。 以前から公共交通と民間の企業は共存していたように町民にとっての選択肢がないのとあるのとでは安心感が違う。しかも、乗り合いタクシーが行き来している区間の中にもかかわらず五城目地区内の方が利用出来ないのは理解を得られない。 これから、冬に向かい不安を募らせている方も多いと考える。五城目地区内の移動も可能になるようその後検討は進んでいるか。</p>